

原著論文

和文

- 1) 川瀬昭彦、岩田欧介、和田和子他・大規模総合周産期母子医療センターの機能喪失と入院時の緊急避難・日本小児科学会雑誌 2017;121(6):1067-1074.
- 2) 井田孔明、伊藤友弥、和田和子他・日本小児科学会災害対策委員会の熊本地震における支援活動と今後の課題・日本小児科学会雑誌 2017;121(7):1281-1288.
- 3) 伊藤友弥、岬美穂、清水直樹他．災害時小児周産期リエゾンという新しい災害支援．日本小児科学会雑誌 2017;121(8): 1397-1404.
- 4) 津田尚武、西ヶ谷順子、吉田 敦、西郡秀和、阪埜浩司、中井章人、海野信也、八重樫伸生、吉村泰典、藤森敬也、増崎英明、藤井知行 「日本産科婦人科学会大規模災害対策情報システム(EMIS 周産期新生児版) の開発」 日本産科婦人科学会雑誌 2017;69: 2369-2374
- 5) 古家信介、吉野智美、和田 和子 他 平成 30 年大阪府北部地震における災害時小児周産期リエゾンの活動報告 日本小児科学会雑誌 2019;123(9): 1436-143

英文等

1. Hayashi M, Fujimori K, Yasumura S, Nakai A; Pregnancy and Birth Survey Group of the Fukushima Health Management Survey. Impact of the Great East Japan Earthquake and Fukushima Nuclear Power Plant Accident on Assisted Reproductive Technology in Fukushima Prefecture: The Fukushima Health Management Survey. *J Clin Med Res.* 2017 Sep;9(9):776-781.
2. Iwata O, Kawase A, Wada K, et al • Evacuation of a Tertiary Neonatal Centre: Lessons from the 2016 Kumamoto Earthquakes. *Neonatology.*2017;112(1):92-96.
3. Sugawara J, Iwama, N, Hoshiai T, Tokunaga H, Nishigori H, Metoki H, Okamura K, Yaegashi N. Regional Birth Outcomes after the 2011 Great East Japan Earthquake and Tsunami in Miyagi Prefecture. *Prehosp Disaster Med.* 2018 Apr;33(2):215-219
4. Tanoue K, Nishigori H, Watanabe Z, Tanaka K, Sakurai K, Mizuno S, Ishikuro M, Obara T, Tachibana M, Hoshiai T, Saito M, Sugawara J, Tatsuta N, Fujiwara I, Kuriyama S, Arima T, Nakai K, Yaegashi N, Metoki H. Interannual Changes in the Prevalence of Intimate Partner Violence Against Pregnant Women in Miyagi Prefecture After the Great East Japan Earthquake: The Japan Environment and Children's Study. *J Interpers Violence.* 2019 Oct 16:886260519881517. doi: 10.1177/0886260519881517. [Epub ahead of print]
5. Kuriyama S, Metoki H, Kikuya M, Obara T, Ishikuro M, Yamanaka C, Nagai M, Matsubara H, Kobayashi T, Sugawara J, Tamiya G, Hozawa A, Nakaya N, Tsuchiya N, Nakamura T, Narita A, Kogure M, Hirata T, Tsuji I, Nagami F, Fuse N, Arai T, Kawaguchi Y, Higuchi S, Sakaida M, Suzuki Y, Osumi N, Nakayama K, Ito K, Egawa S, Chida K, Kodama E, Kiyomoto H, Ishii T, Tsuboi A, Tomita H, Taki Y, Kawame H, Suzuki K, Ishii N, Ogishima S, Mizuno S, Takai-Igarashi T, Minegishi N, Yasuda J, Igarashi K, Shimizu R, Nagasaki M, Tanabe O, Koshihara S, Hashizume H, Motohashi H, Tominaga T, Ito S, Tanno K, Sakata K, Shimizu A, Hitomi J, Sasaki M, Kinoshita K, Tanaka H, Kobayashi T, Kure S, Yaegashi N, Yamamoto M; Tohoku Medical Megabank Project Study Group. Cohort Profile: Tohoku Medical Megabank

Project Birth and Three-Generation Cohort Study (TMM BirThree Cohort Study): Rationale, Progress and Perspective. *Int J Epidemiol.* 2019 Aug 25. pii: dyz169. doi: 10.1093/ije/dyz169. [Epub ahead of print]

その他論文

和文

1. 岬美穂、災害医療における小児 救急医学 2017年6月号(第41巻第6号)
2. 岬美穂、災害時小児周産期リエゾンの活動について 日本産科婦人科学会雑誌 2017年12月(第69巻第12号)
3. 岬美穂、災害時小児周産期リエゾンの役割 小児内科 2018年3月号
4. 井田孔明 日本小児科学会が取り組むべき今後の課題 小児内科 2018年3月号
5. 中井章人. 災害時小児周産期リエゾンの養成の実際と課題 東京都. 周産期医学. 2019; 49(9): 1206-1219
6. 大木 茂 災害時小児周産期リエゾンの活動内容 発災時 新生児 周産期医学 49(9) 1226-1230, 2019
7. 菅原 準一 災害時の小児・周産期医療の問題点 産科 周産期医学 49(9); 1186-1190, 2019
8. 鈴木真 災害時小児周産期リエゾンの活動内容ー平時:産科 周産期医学 49(9); 2019
9. 和田 和子 災害時小児・周産期の活動の実際と問題点 平成29年度大規模地震時医療活動訓練 周産期医学 49(9); 1272-1275, 2019
10. 津田尚武「災害時小児周産期リエゾンの活動内容-発災時:産科」周産期医学 49(9); 1221-1225, 2019
11. 井田孔明:災害時の子どもの食の安全. 小児内科 51:1249-1253、2019
12. 井田孔明:バイオサイコソーシャルモデルで考える災害復興時の小児に対する支援. 小児内科 51:1827-1830、2019

学会発表

国内

1. 岬美穂 「小児周産期領域における災害への取り組みと今後の課題」第45回日本救急医学会総会・学術集会 2017年10月
2. 服部響子、中金朗子、関口和企、松澤晃代、石川隆三、大西庸子、金井雄二、望月純子、海野信也. 神奈川県周産期医療センターにおけるBCP作成の課題. 第134回関東連合産科婦人科学会, 宇都宮, 2017
3. 大木茂 「新生児医療 災害対策」第53回日本周産期・新生児医学会学術集会 シンポジウム 周産期リエゾンの導入にあたって 横浜 2017.7.17
4. 鈴木真 「産科医療 災害対策」第53回日本周産期・新生児医学会学術集会 シンポジウム 周産期リエゾンの導入にあたって 横浜 2017.7.17

5. 伊藤友弥 「災害時小児周産期リエゾン」第 53 回日本周産期・新生児医学会学術集会 シンポジウム 周産期リエゾンの導入にあたって 横浜 2017.7.17
6. 伊藤友弥「厚労科研から。災害時小児周産期リエゾンの今後。」第 62 回日本新生児成育医学会・学術集会 シンポジウム 皆で語り合おう！災害時小児周産期リエゾンに期待されること 埼玉 2017.10.12
7. 大木 茂 シンポジウム「在宅人工呼吸患者の危機管理」 災害時の在宅人工呼吸患者と家族への対応 大規模病院の立場から 日本周産期・新生児医学会第 55 回日本周産期・新生児医学会学術集会
8. 井田孔明：災害時小児周産期リエゾンの役割と連携. 第 61 回日本小児神経学会学術集会 名古屋、2019
9. 鈴木 真、弓削千尋、菅原 淳 千葉県における災害時小児周産期リエゾンの活動について 第 30 回千葉県周産期新生児研究会 2019 年 6 月 8 日
10. 鈴木真 シンポジウム 想定外に備える 院内インフラが壊れるとき 災害時における亀田総合病院の取り組み 第 14 回医療の質・安全学会 2019 年 11 月 29 日
11. 鈴木真 弓削千尋 台風 15 号における千葉県小児周産期リエゾンの活動 千葉県産婦人科医学会 周産期委員会 2019 年 9 月 27 日
12. 井田孔明：災害時小児周産期リエゾンの役割と連携. 第 185 回大阪市小児科医会学術集会 大阪、2019

国際

1. Hattori, K., Tsuda, N., Nishigaya, Y., Sugawara, J., Suzuki, M., Nakai, A., Misaki, M., Itoh, T., and Unno, N. Development of a training course for “Disaster Liaison for Pediatrics and Perinatal Medicine (DLPPM)” and “Emergency Medical Information System for Pediatric and Perinatal Medicine (EMIS-PPM)” in Japan. 44Th Annual meeting International Fetal and Perinatal Physiological Society, Osaka, 2017

その他

施策に反映

1. 災害時小児周産期リエゾン養成講習会：講師として参画
 研究代表者：海野信也
 研究分担者：岬美穂・伊藤友弥・菅原準一・大木茂・鈴木真・津田尚武
 - ① 平成 29 年度 第 1 回 第 2 回
 - ② 平成 30 年度 第 1 回：平成 30 年 9 月 16 日-17 日 第 2 回：平成 30 年 10 月 27 日-28 日 第 3 回：平成 31 年 2 月 16 日-17 日

- ③ 令和元年度 第1回 2019年11月3日—4日 大阪 第2回 2020年1月18日—19日 東京 第3回 2020年2月8日—9日 東京

普及・啓発

1. 海野信也 「小児周産期領域の災害対策：新たな展開について」 愛知県産婦人科医会第6回学術研修会 名古屋 2017.11.4
2. 菅原 準一 周産期災害対応と次世代型医療の開発—東北の創造的復興へ— 第34回山口県母性衛生学会学術講演会 2017年6月11日 山口
3. 菅原 準一 東日本大震災が宮城県の周産期医療に与えた衝撃 特別企画「大規模自然災害と医療安全」 第38回日本妊娠高血圧学会 2017年9月23日 熊本
4. 海野信也 災害時の小児周産期医療—災害時小児周産期リエゾン養成を開始して— 第32回日本助産学会学術集会 神奈川 2018.3.4
5. 大木茂 新生児医療連絡会の災害時広域連絡システム 第12回NeoForum 横浜 2017.9.30
6. 菅原準一 災害時の周産期危機管理 会長特別企画「災害時の周産期医療と危機管理」 第70回日本産科婦人科学会学術講演会 仙台 2018年5月11日
7. 津田尚武 災害時の周産期ネットワーク 会長特別企画「災害時の周産期医療と危機管理」 第70回日本産科婦人科学会学術集会 2018年5月11日 仙台。
8. 菅原準一、平時からの周産期領域災害対策・危機管理、秋田県周産期医療人材育成事業 第68回遠隔テレビ会議（秋田大学、秋田赤十字病院、能代厚生医療センター、大曲厚生医療センター）、秋田、2018年6月25日
9. 伊藤友弥 災害時に母と子を守るために 院外のネットワーク 第54回 日本周産期新生児医学会ランチョンセミナー 東京 2018年7月9日
10. 伊藤友弥 災害時小児周産期リエゾン 厚労科研の方向性（指定発言） 第54回 日本周産期・新生児医学会 東京 2018年7月10日
11. 伊藤友弥 災害時小児周産期リエゾン 新しい災害支援のあり方 沖縄周産期ネットワーク協議会 2018年7月13日
12. 伊藤友弥 小児領域における災害対策 豊能広域こども急病センター救急医療研究会 2018年9月8日
13. 大木 茂 「周産期災害対策 地域の赤ちゃんを守るために NICUスタッフがなすべきこと」 第13回新生児集中ケア認定看護師会勉強会 特別講師、2018年9月8日
14. 大木 茂 「災害時の情報伝達システム」 周産期災害シンポジウム 第39回静岡県周産期新生児研究会、静岡市、2018年9月29日

15. 海野信也 「災害時小児周産期リエゾンの役割」 第 45 回日本産婦人科医会学術集会
2018 年 10 月 7 日 シンポジウム「大規模災害と周産期医療」大阪
16. 海野信也 「災害時小児周産期リエゾンの役割」 シンポジウム「大規模災害と周産期医療」 第 45 回日本産婦人科医会学術集会 大阪 2018 年 10 月 7 日
17. 井田孔明 「災害時の小児医療支援について」 第 392 回川崎市小児科医会症例検討会 2018 年 11 月 27 日
18. 井田孔明 「大災害時の小児医療支援」 ラジオ NIKEEI 「小児科診療 UP-to-DATE」
2018 年 12 月 21 日放送
19. 井田孔明 「災害時とその後の母子支援を目指して：日本小児科学会の活動を中心に
平成 30 年度母子保健シンポジウム～災害時における子どもの心と体のケア～」
2019 年 3 月 6 日
20. 菅原準一、災害時小児周産期リエゾン活動の実際と産婦人科災害対応システム、宮
城県災害時小児周産期リエゾン研究会 仙台、2019 年 3 月 17 日
21. 井田孔明 「災害時の小児医療支援と災害への備え」 第 356 回日本小児科学会神奈
川県地方会 2019 年 3 月 30 日
22. 大木 茂 第 64 回日本新生児成育医学会シンポジウム 9 周産期の災害対策、平時
から出来ること 企画及び座長 2019 年 11 月 29 日 SHIROYAMA HOTEL
kagoshima (旧城山観光ホテル)
23. 大木 茂 小児・周産期医療従事者向け災害医療研修会 開催および講師 2019
年 11 月 29 日 鹿児島市立病院多目的ホール
24. 大木 茂 『災害時における医療現場での対応』～電力会社・行政・医師・看護師・
DMAT 隊員 それぞれの観点から～ 第 16 回静岡小児 HOT 研究会 企画及び座長
2019 年 6 月 15 日 CSA 貸会議室 レイアアップ御幸町ビル 6 階 6-D 会議室
25. 大木 茂 特別講演 周産期災害対策 地域の赤ちゃんを守るために 周産期
スタッフがなすべきこと 島根新生児研究会 2019 年 2 月 3 日 島根県立中央病院
26. 大木 茂 特別講演 周産期災害対策 地域の赤ちゃんを守るために 周産期ス
タッフがなすべきこと 道南産科・婦人科合同学術講演会 2019 年 6 月 21 日
27. 菅原 準一、災害時小児周産期リエゾンの訓練について 宮城県災害時小児周産期リエ
ゾン研究会、仙台、2020/3/8.
28. 鈴木真 千葉県小児周産期リエゾン研修会 2019 年 10 月 20 日 於：千葉市
29. 鈴木真 CSCA-TTT について 亀田総合病院災害勉強会 2019 年 9 月 4 日
30. 和田 和子 赤ちゃんもママも子どももみんな守ろう！災害時小児周産期リエゾン
とともに 第 36 回日本小児臨床アレルギー学会 特別講演 2019.7.27 和歌山
31. 津田尚武 「これだけは知っておきたい災害対策：大規模災害対策情報システムの
活用」日本産科婦人科学会学術講演会 2019/4/14 災害対策復興委員会企画